

第84回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成30年11月7日（水）18：30～20：00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 19人

3 本日の自己紹介テーマ 調べる

4 会議内容

(1) ことば蔵で風流を（報告）

あっという間に終わった。踊りや邦楽、森本先生のお話もあり、盛りだくさんだった。

(2) ドッカンショー！（報告）

今回は体験版。箱の中にキーワードを入れてぐちゃぐちゃポンの合図でだし、おもしろいことを考える。小さい子どもも参加してくれた。

(3) 漫画を語ろう（報告）

今回は野球漫画がテーマ。参加者それぞれの思い入れのある漫画を持ち寄りました。次回は11月28日（水）18時30分～ テーマは「4コマ漫画」。

(4) 気になる本で話そう（報告）

「家事のしすぎ」が日本を滅ぼす」という本をテーマに参加者それぞれの家庭の家事の事情や家事にまつわる考え方について自由に話し合いました。

(5) わちゃわちゃビジネス Day（報告）

思ったより成功したと思う。レゴで車を作るブースは子供たちが参加してくれ、車の生産効率を上げることができていた。

(6) こども作戦会議（報告）

12月2日の本番にむけて準備をしました。本番を成功させるためには何をすればよいかも明確になってきました。

(7) 第2回エコエピソード（新規）

前回は募集期間が2週間と短かったが60前後の応募があった。今回も開催したい。募集期間を長くしてテーマを決めてもよいと思う。

(8) 第4回タイトルだけグランプリ運営会議賞(=ことば蔵特別賞について)(新規)
1,000件以上の応募が達成した時にこの賞を設けた。今回も応募が1,000件超えれば作りたい。募集期間終了から表彰セレモニーまでの期間でいかに審査できるかが課題である。前回はセレモニー本番にならないと投票結果が分からない状態であったが、事前に知っておきたい。

(9) 本で知る、つながる、わかりあう、認知症にやさしい伊丹にIN ことば蔵(新規)
認知症のサポーターは全国で930万人程度いる。小さい子にサポーターになってほしい。何回かに講座をわけてできるとありがたい。認知症の講座から経験者の話、関連図書の紹介等を行いたい。

(10) ことば蔵で風流を+すごろく(新規)
伊丹の酒文化を伝える、邦楽とすごろくのコラボ企画。
一部で大人対象に邦楽の演奏会を行う
二部で子ども対象に伊丹の酒文化と歴史を取り入れた大型すごろく遊びを行う。
子どもたちがコマとなって移動しながら遊ぶすごろく大会を予定。

(11) オープリービーズリー文庫 コレクション展(新規)
ビブリオバトル推進委員会で活躍されている明石友貴さんが長年コレクションしている「オープリー・ビーズリー文庫」の貴重な蔵書を、1階交流フロアの一角にコーナーを設けて展示。また長年「田中恭吉のビーズリー受容」について研究をされている佐伯百々子さんをゲストにお招きして、お二人でビーズリーの魅力について語るトークイベントを開催します。

(12) 子どもの居場所 フルハウス(告知)
宿題タイム、クリスマスカード作りの他、ボランティアグループドリームさんによるクリスマスソングのオカリナ演奏をしてもらいます。12月6日(木)15:00~

(13) 休憩所カフェ Link(続き)
年末年始や2月頃にことば蔵で勉強をしている学生向けに、息抜きができて、インスタ映えするようなオシャレな飲み物を低価格で提供できるカフェを作りたい。

課題: ・公共施設で販売を行うことを慎重に考えなければならない

- ・図書館サイドから依頼する形でやらないと、やりたい人が誰でもOKという風潮になっては困る
- ・カフェを作るなら、4階で場所とりをして休憩をする人たちに一時的な場所として提供し、長期的に場所取りしないよう呼びかけるものにするとかの理由が必要。
- ・ドリンク代は請求せず無料の方が良いが、無料にすると来る人が多すぎるの

で、受験生のみ等に限定した方が良い。

- ・何かしらの講座をした後に、講座の一部としてドリンク等を提供する形にしてはどうか？

(14) かいごのか (告知)

第2回目は解決の「か」。関心を持つことが知ることのはじまり。

仕事を持ちながら介護をしている方、介護経験のある方、介護に関心のある方なら誰でも歓迎。 12月16日(日) 10:00～

その他イベント情報はHPをご覧ください

- 4 次回の運営会議 平成30年12月5日(水) 18:30～
図書館ことば蔵1階交流フロア
ぜひご参加ください。